市町村名	東 村

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-②	東村避難所公園整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（４）－イ 社会リスクセーフティネットの確立
担当部課名	建設環境課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－（２）
事業内容	村立有銘小中学校は避難所として指定されているが、海抜３．７ｍに位置し、大きな津波発生時の避難所としては不十分であるため、背面高台周辺を大きな災害時でも対応できる避難所として整備する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	40,000	－			
	(b)予算現額	40,500	－			
	(c)増減額(b-a)	500	－			
	(d)繰越額	－	40,500			
	A．計(b+d)	40,500	40,500			
B．執行済額			40,174			
うち交付金充当額			32,000			
次年度繰越額		40,500				
執行率（%）(B/A)			99.2%			
予算の状況の説明	用地取得の交渉が、相続問題で難航したため平成25年度に繰越をせざるを得なかった。 不要額は発生しているが、入札残によるものであり、費用は適正に執行された。 当初計画していた事業内容は予定通り実施しており、活動目標、成果目標の達成状況から適正であったと考える。					

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
避難所公園及び避難経路の整備（有銘地区）	目　標	（避難所公園及び避難経路の整備）	（　）	（　）	（　）
	実　績	避難所公園及び避難経路の整備			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：有銘校及び周辺住民の避難路と避難場所を整備した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
避難所公園及び避難経路の整備（有銘地区）	目　標	（　）	（避難所公園及び避難経路の整備）	（　）	（　）	（　）
	実　績		避難所公園及び避難経路の整備			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：有銘校及び周辺住民の避難路と避難場所を整備した。

取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	有銘小中学校及び学校周辺地域において、津波を想定した避難訓練では、国道３３１号線あるいは県道１４号線を使用し村営有銘本字団地まで避難するが、県道は歩道が無く、また団地への進入路は道幅も狭いため車両による避難経路として、村道有銘本字団地線（村道認定申請中）として道路拡張工事を行った。また、有銘小中学校から児童生徒及び周辺住民の避難路として階段遊歩道の整備を行い、併せて、避難所公園の整備も行った。	当初の事業計画では、避難所公園の面整備しか計画しておらず、有事の際には、災害弱者（お年寄りや児童等）の避難後のストレスや不安感を取り除くため、さらなる機能強化を図って行きたい。

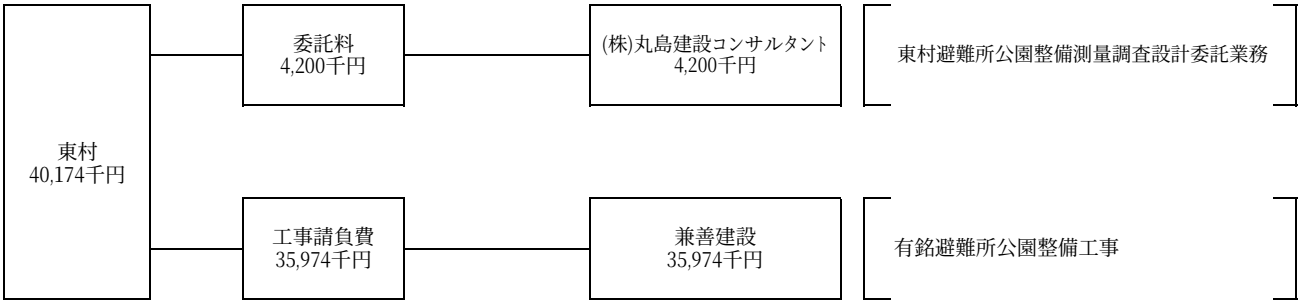
今後の取り組み方針

さらなる機能強化に向け、東屋や公衆トイレ、防犯灯の設置等を検討する。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
40,174	40,174	32,000	8,174	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託、工事請負業者共に指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目、使途については、事業目的達成の観点から必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3－②	東村台風に強い農業施設整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（７）－カ 亜熱帯性気候を生かした農林水産業の振興
担当部課名	農林水産課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（６）
事業内容	本村の主要作物の一つであるマンゴーは、台風による被害を受けやすいことから、防風ネット等を整備し、被害の軽減を図る。				
実施方法	□直接実施　□委託　□補助　■負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	12,090	－			
	(b)予算現額	15,000	－			
	(c)増減額(b-a)	2,910	－			
	(d)繰越額	－	15,000			
	A. 計(b+d)	15,000	15,000			
B. 執行済額			14,700			
うち交付金充当額			9,672			
次年度繰越額		15,000				
執行率（%）(B/A)			98.0%			
予算の状況の説明		マンゴーの受粉を行う花の開花時期が1月～3月でありハウス内での工事作業を行うことが困難であることから、翌年度へ繰越を行い執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
防風ネット（二重カーテン）の設置：3箇所	目　標	（　3箇所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3箇所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明		既存マンゴーハウス巻き取り式のアーチ型防風ネットを平成25年12月26日設置。			

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
防風ネット（二重カーテン）の設置：3箇所	目　標	（　－　）	（　3箇所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		3箇所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明		既存マンゴーハウス巻き取り式のアーチ型防風ネットを設置。				

取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	・ 平成25年12月26日に設置したため、台風による果実及び樹への暴風被害の軽減効果は、台風来襲時期の平成26年夏から秋以降の検証となる。	・ 二重カーテンの防風ネットの網目サイズの検討を行い、有効であればマンゴーの安定した生産を図る。

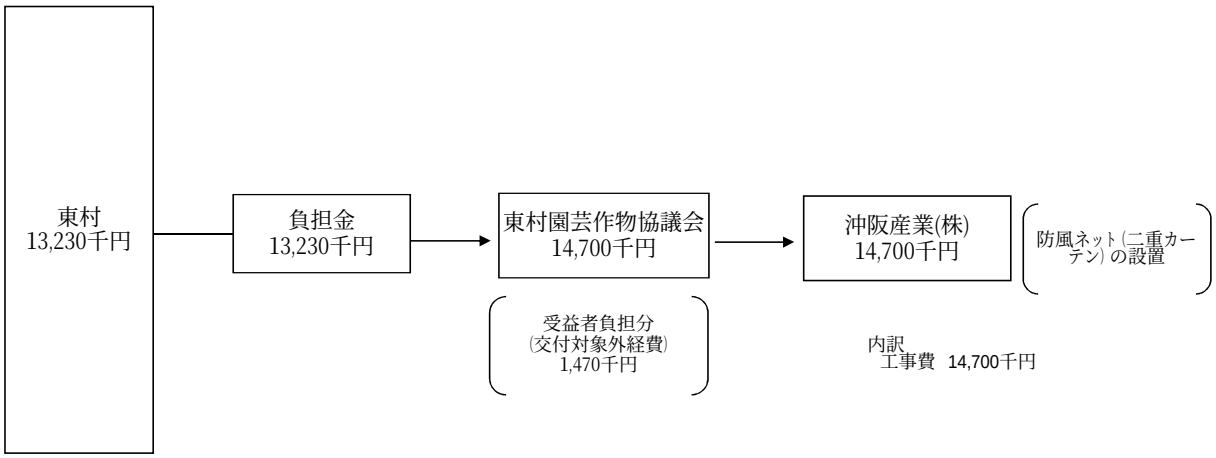
今後の取り組み方針

・ 二重カーテン施設の効果検証し、他の農家への普及を図っていく。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,700	13,230	9,672	3,558	1,470



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受益者の負担は補助金交付要綱に準じて実施し、妥当であると考える。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのかについて額の確定時において支出に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4	東村クリーンエネルギー推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－（３）－イ 低炭素島しょ社会の実現
担当部課名	総務財政課 建設環境課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１１－（３）
事業内容	本村の豊かな自然資源を利用したクリーンエネルギーの普及による環境に優しいエコな村づくりを推進するため、村内の公共施設に太陽光パネルを設置し太陽光発電を整備するとともに、浄水場の流水を利用し水力発電を整備する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	208,059	－			
	(b)予算現額	208,059	－			
	(c)増減額(b-a)		－			
	(d)繰越額	－	203,574			
	A. 計(b+d)	208,059	203,574			
B. 執行済額		4,485	183,603			
うち交付金充当額		3,588	146,882			
次年度繰越額		203,574				
執行率（%）(B/A)		2.2%	90.2%			
予算の状況の説明		委託及び工事の入札により不用額が発生した。 太陽光パネルの景観に配慮した設置調整に不測の日数を要した。また水力発電は浄水機能を稼働させながらの工法となり管理者との協議に時間を要したため平成２５年度に繰越しせざるを得なかった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
太陽光発電設備詳細設計の実施 川田浄水場における小水力発電設備詳細設計の実施	目　標	（　実施設計完了　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	実施設計完了 工事完了			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

平成24年度　太陽光発電設備設計完了（6箇所）
平成25年12月　太陽光発電設備工事完了（6箇所）
平成25年6月　小水力発電設備設計完了（1箇所）
平成26年3月　小水力発電設備工事完了（1箇所）

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（25年度）
太陽光発電設備詳細設計の実施 東村川田浄水場における小水力発電設備詳細設計の実施	目　標	（　　）	（6箇所 1箇所　）	（　　）	（　　）	（16箇所 1箇所　）
	実　績		6箇所 1箇所			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

平成24年度　太陽光発電設備設計完了（6箇所）
平成25年12月　太陽光発電設備工事完了（6箇所）
平成25年6月　小水力発電設備設計完了（1箇所）
平成26年3月　小水力発電設備工事完了（1箇所）

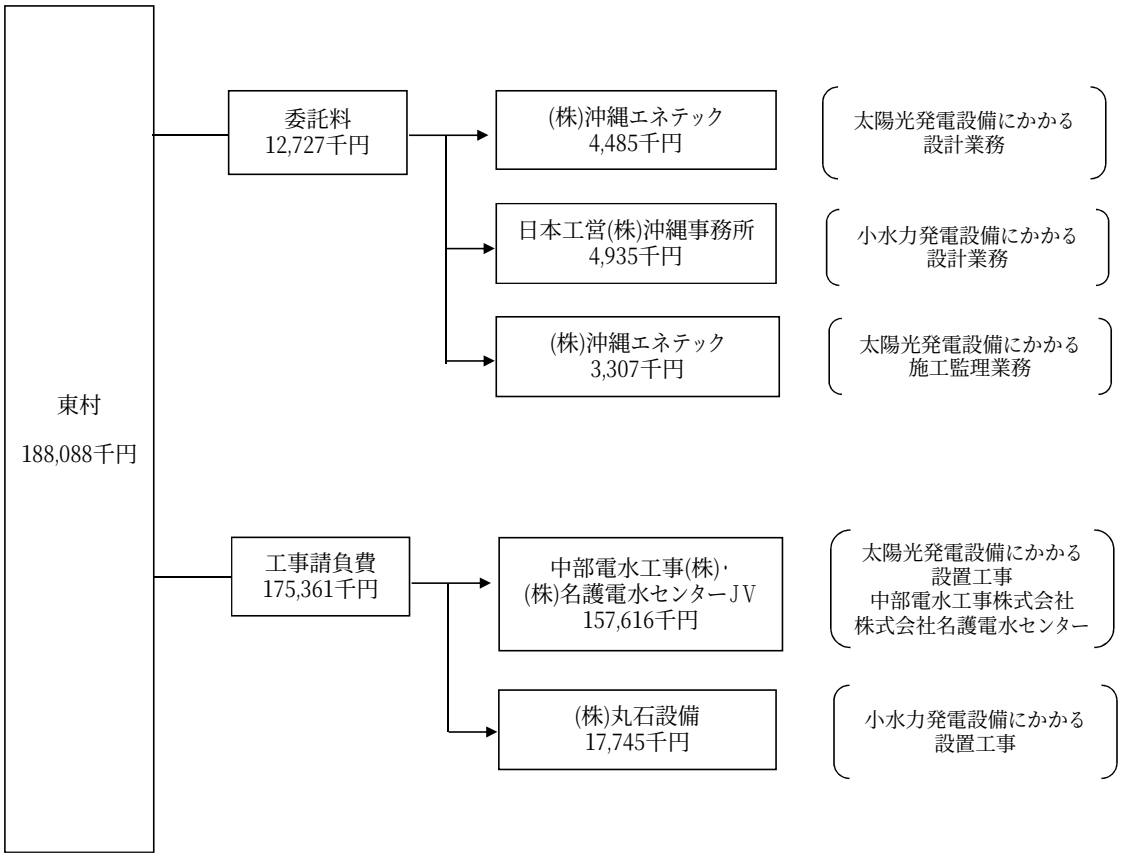
取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	太陽光発電設備の機器の一つであるパワーコンディショナー（※）は、高周波音（モスキート音）を発生し、常時使用する室内への設置には向かない。 ※電気を直流から交流に変換する機器。	パワーコンディショナーを屋外や倉庫などに設置することで解決される。
	小水力発電設備を屋内に設置するスペースがなかったので屋外に設置した。発電設備の台風による塩害の影響が懸念される。	発電機には、塩害防止のためカバーを設置しているが台風による影響を見て防錆塗装などの対策を行う。

今後の取り組み方針

○再生可能エネルギー普及のため村内の住宅に太陽光発電設備を設置する方に対し、補助金を交付。
○防犯灯や公共施設電灯の省電力（LED）化。
○本村のクリーンエネルギー推進の取り組みを紹介するリーフレットの作成

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
188,088	188,088	150,470	37,618	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託料及び工事請負費ともに企業組織、実績等を勘案した上で業者を選定し、指名競争入札で契約の相手方を決定しており妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的の達成の観点からも必要なものなのかについて額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	